

Z Y 1 2 - 1 8 論文要旨説明書

報告論文のタイトル：原子力損害賠償制度と福島原子力事故の賠償の状況について（仮）

報告者・共著者（大学院生は所属機関の後に（院生）と記入してください。）

報告者 1 氏名 ：北郷太郎	所属 ：東京大学 研究推進部研究推進課付 兼政策ビジョン研究センター (特任研究員・文部科学省研究休職)
報告者 2 氏名 ：奈須野太	所属 ：原子力損害賠償支援機構 (執行役員・経済産業省より出向)
共著者氏名 ：調整中	所属 ：文部科学省等制度関係省庁

論文要旨（800 字から 1200 字，英文の場合は 300 から 450 語）

原子力損害賠償制度について、これまでその施行、法改正等に関わってきた実務上の専門家が、我が国原子力損害賠償制度の枠組み、その背景にある考え方を説明した上で、東京電力福島原子力発電所の事故の賠償の現状について報告し、制度の趣旨に照らして検討する。また、事故後の賠償の現状を踏まえ、制度について見直すべき点等に関する考察を行う。

※現在進行中の事象についての報告であるため、現時点では、詳細な報告が困難であることを考慮いただきたい。また、賠償に関する諸情勢等により、報告が困難になる場合もある。